

## 事業の背景・目的

現在の生息地が地球上で1ヶ所のみであり、さらに個体数の減少が著しい絶滅寸前の国内希少野生動物種であるオガサワラハンミョウとフサヒゲルリカミキリの生息域外保全を行うことにより、種の保存に寄与する。両種ともに野生復帰事業に供することを最終目的とし、飼育技術の向上ならびに効率的な飼育方法の開発にも挑戦する。



オガサワラハンミョウ

フサヒゲルリカミキリ

## 事業の内容及びその成果

### ・オガサワラハンミョウの生息域外保全

- ・生息域外個体群を継続して維持することにより種の保存を図るとともに、野生復帰に必要な飼育繁殖技術の確立及び生態等の科学的知見の蓄積を行う。
- ・生体展示を行い、生物多様性保全にかかる教育普及に努める。



### 成果

順調に累代飼育継続中、種の保存に貢献

羽化数102個体、飼育数543  
個体（2023/2/2時点）

幼虫の飼育棚



常設的に生体展示を行った

### ・フサヒゲルリカミキリの生息域外保全

- ・累代繁殖を成功させ、飼育個体群の安定化と個体数の増大を行う。関連して、飼育繁殖技術の確立と飼育マニュアルの作成を行う。
- ・飼育下における休眠・越冬環境の解明や、安定した飼育継続のための飼料開発も注力する。



### 成果

2世代連続累代飼育成功（国内施設初）、種の保存に貢献

羽化数69個体、飼育数294個  
体（2023/2/2時点）

幼虫の飼育ケース



今まで知られていなかった、  
寄主植物の地下部のみを食  
餌とした飼育に成功

生体展示